

令和 1 年度事業報告書

(平成31.4～令和2.3)

遠賀園指定短期入所生活介護事業所

遠賀園指定短期入所生活介護事業所

1. 利用状況

(1) 月別サービス利用状況（定員10名）

月	利用人数	利用日数	一日平均	前年度
4	29	400	13.33	16.20
5	29	371	11.97	17.94
6	26	325	10.83	18.33
7	26	430	13.87	18.06
8	36	415	13.39	17.23
9	32	385	12.83	15.73
10	30	386	12.45	13.74
11	32	403	13.43	13.67
12	37	469	15.13	13.94
1	34	323	10.42	13.23
2	29	344	11.86	11.46
3	30	383	12.35	12.61
月平均	30.8	386.2	12.66	15.18
前年度	32.2	462.3	15.18	

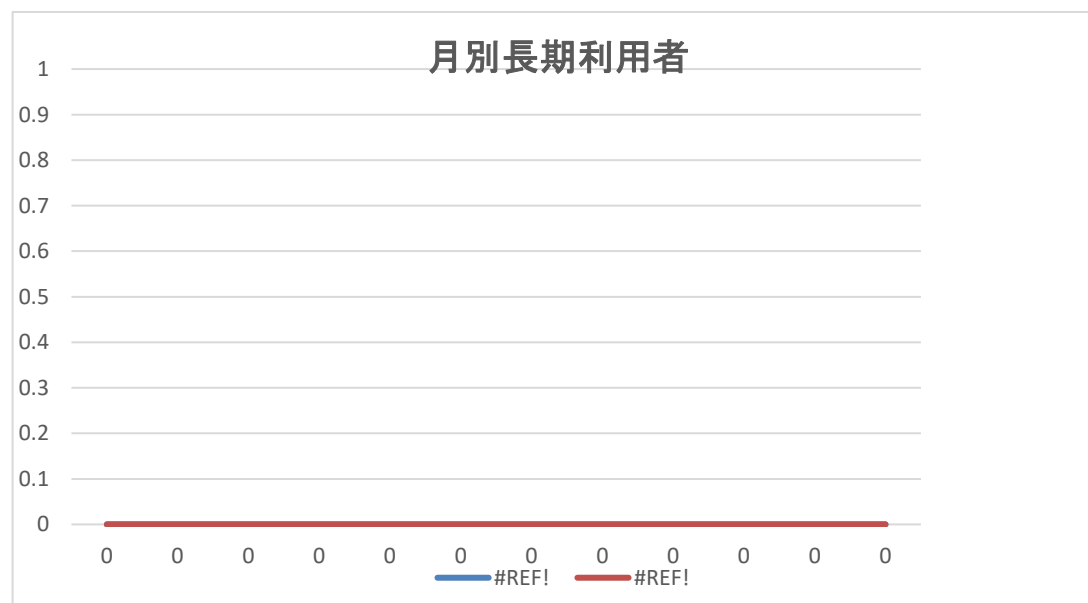
(2) 月別新規受入人数

月	R1年度	30年度
4	2	6
5	3	3
6	1	3
7	2	6
8	4	1
9	4	2
10	2	4
11	2	2
12	6	2
1	3	1
2	5	3
3	2	5
月平均	3.00	3.17

定員10名に対して、一日平均利用者週は安定的に10名を超えているが、昨年度と比較して利用者数は減少している。入院者・入所等の空きベッドに対して(特に年末年始の大量の長期入院者と退所者増に対する)早期受け入れ対応ができなかった。次年度は①空きベッドを作らないための日常的な管理、②在宅生活困難者を可能な限り受け入れるための柔軟な受入れ体制の検討、③ショートステイ利用希望者輻輳時の在宅ケアマネとの利用日程調整、居室調整、ベッド数の確保により注力していく。

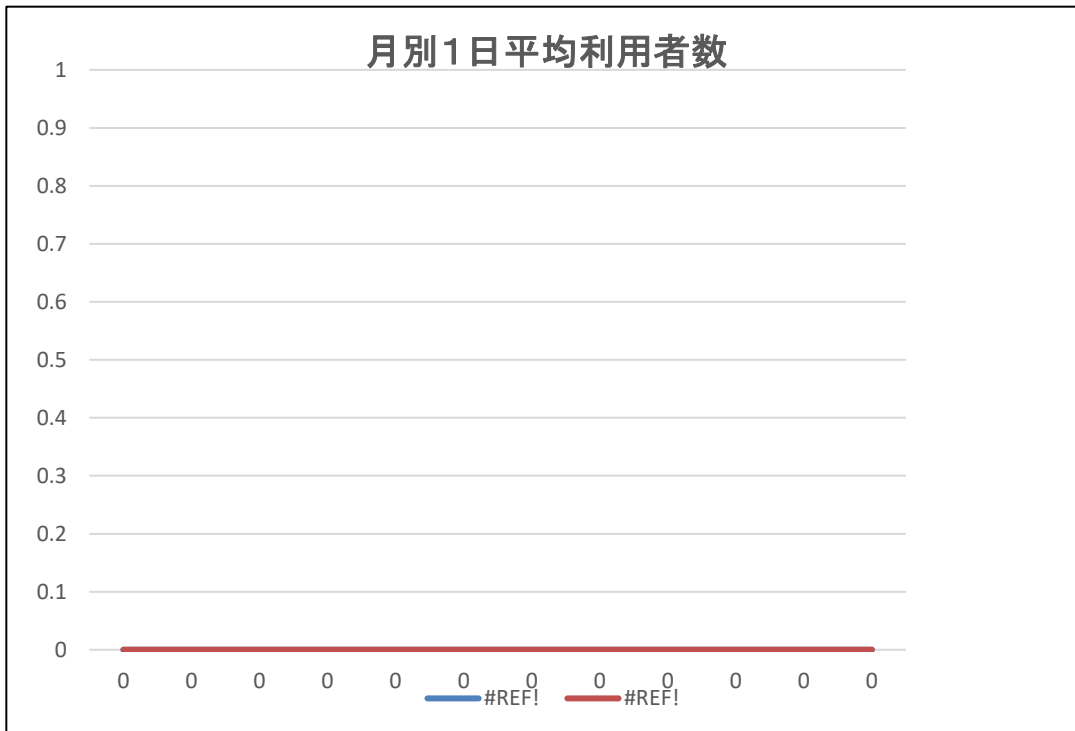
新規利用者数は昨年度より減少

(3) 月別長期利用者人数



前年と比較して長期ショートの利用者が減少の傾向あり(H30年度平均10.3名⇒HR1年度平均8.0名)

(4) 月別1日平均利用者人数

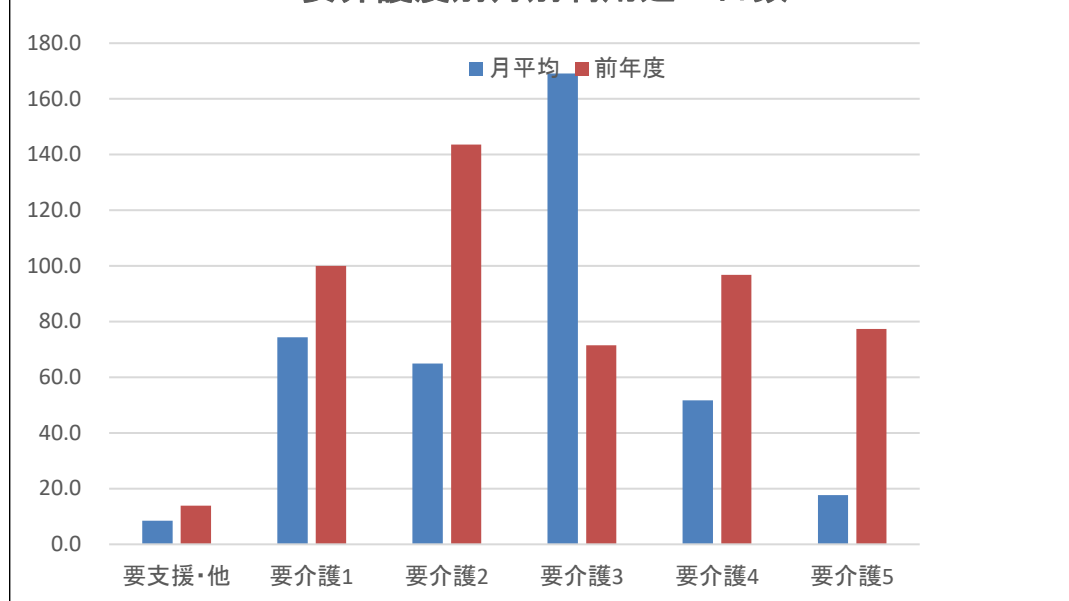


昨年同様、ショートスティ利用者数は安定してきているが、近年長期ショート利用のニーズが増えており、特に在宅生活困難者の緊急的な受入れ要請(病院退院後、急速な認知症の進行等)への対応が課題となってきている。そのような在宅生活困難者の入所待ち対応として長期ショート利用を効果的に活用し、定期利用者とのバランスを保ちながら、安定的な利用者の確保に努める。

(5) 要介護度別月別利用延べ日数

月	要支援・他	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
4	8	86	77	114	71	44	400	
5	11	49	92	122	55	42	371	
6	2	35	67	114	58	49	325	
7	5	47	67	166	92	53	430	
8	8	85	48	195	59	20	415	
9	7	61	35	178	104	0	385	
10	11	72	46	222	35	0	386	
11	10	120	54	192	27	0	403	
12	5	92	95	238	35	4	469	
1	7	50	80	153	33	0	323	
2	7	78	73	163	23	0	344	
3	21	117	45	172	28	0	383	
月平均	8.5	74.3	64.9	169.1	51.7	17.7	平均介護度:R1	2.2
前年度	13.9	100.0	143.6	71.5	96.8	77.4	平均介護度:H30	2.6

要介護度別月別利用延べ日数



昨年度と比較して平均介護度が下がっている。(H30年度:平均介護度2.6⇒R1年度平均介護度:2.2)

2. 実績

(1) 事業活動収支状況

	h30年度	R1年度	差異	(円)
収入	56,857,629	47,869,150	-8,988,479	
支出	38,565,601	35,093,846	-3,471,755	
収支	18,292,028	12,775,304	-5,516,724	

(2) 収支増減要因

① 収入減少要因

- ・利用者の減少(入所者の空きベッドに対する効率的な利用者受け入れができなかった)によるもの
- ・介護度の低下によるもの

② 支出増加要因

- ・人件費の減少によるもの